

法務大臣表彰

落合 恵子 氏



功績

● 作文コンテストの審査等

落合恵子氏は、20年以上にわたり、「全国中学生人権作文コンテスト」の中央大会における審査員長として、作文の審査及び入賞作文の決定に携わるとともに、入賞作文を取りまとめて発行する作文集に、審査講評を寄稿している。また、全国各地で、主に女性の人権及びこどもの人権に関する講演活動を行っており、当該活動の趣旨が報道等を通じて広く周知されている。これらの活動は、人権尊重思想の普及高揚と法務省の人権擁護機関が行う人権擁護活動への支援及び協力において、顕著な功績があるものと評価された。

受賞のコメント

「再びの、はじめの一歩」

毎年寄せられる作文を通して、なんと多くの人権無視に溢れた国であり社会かを痛感。大人のひとりとして一体何ができるかもわたしのテーマでした。中学生が真っすぐに指摘する人権意識が欠如した社会を、ひとりも置き去りにすることなく、より深く豊かな人の関係性に向けて。

個人的には再びのはじめの一歩の、気持ちです。



©神/川智早



法務大臣感謝状

宮崎日日新聞

株式会社宮崎日日新聞社



功績

● 作文コンテストの後援等

株式会社宮崎日日新聞社は、3 9年にわたり、「全国中学生人権作文コンテスト」宮崎県大会の共催者として、審査員の派遣、「宮崎日日新聞社賞」の贈呈、表彰式の様子や入賞作文の新聞紙面への掲載をしている。また、法務省の人権擁護機関が実施する特設人権相談や啓発活動に関する記事のほか、人権擁護委員の委嘱や会議に関する記事についても積極的に掲載している。これらの活動は、人権尊重思想の普及高揚と法務省の人権擁護機関が行う人権擁護活動への支援及び協力において、顕著な功績があるものと評価された。

受賞のコメント

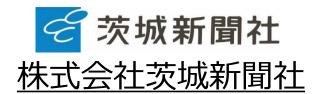
弊社の取り組みを評価いただき、誠にありがとうございます。 私どもは「読者と共感、県民と共感」をスローガンに、信頼に応える紙

面づくりに日々取り組んでいます。また、子どもの貧困問題をはじめ、SDGsも推進しています。人権を重んじる社会の実現へ向け、地域の課題を掘り起こし、啓発活動を積み重ねて参ります。





法務大臣感謝状





功績

● 作文コンテストの後援等

株式会社茨城新聞社は、30年以上にわたり、「全国中学生人権作文コンテスト」茨城県大会を後援し、表彰状の贈呈、表彰式の様子や入賞作文の新聞紙面への掲載をしている。また、法務省の人権擁護機関の活動や法務局が取り扱う事務に関する広報記事についても、毎月掲載している。これらの活動は、人権尊重思想の普及高揚と法務省の人権擁護機関が行う人権擁護活動への支援及び協力において、顕著な功績があるものと評価された。

受賞のコメント

今回の受賞を大変嬉しく思うとともに、責任の重さを感じております。 茨城新聞社は、「総合情報企業として誠実に活動し、県民の幸福と地 域の発展に貢献すること」を企業理念として公正で正確な報道に努めて きました。

人権が尊重される社会、差別のない社会の実現に向け、今後も、地元 報道機関として努力してまいります。





法務大臣感謝状

本中回新開社 株式会社中日新聞社岐阜支社



功績

● 作文コンテストの後援等

株式会社中日新聞社岐阜支社は、28年にわたり、「全国中学生人権作文コンテスト」岐阜県大会を後援し、審査員の派遣、「中日新聞賞」及び副賞の贈呈、入賞作文の新聞紙面への掲載をしている。また、法務省の人権擁護機関が実施する人権相談の各種強化週間に関する記事についても積極的に掲載している。これらの活動は、人権尊重思想の普及高揚と法務省の人権擁護機関が行う人権擁護活動への支援及び協力において、顕著な功績があるものと評価された。

受賞のコメント

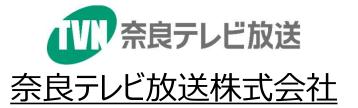
栄誉ある賞をいただき、ありがとうございます。全国中学生人権作文コンテスト入賞作品の紙面掲載を通じ、若者の新鮮な感覚を岐阜県の読者と共有できることを嬉しく思っています。

私たちは、他者に対する不寛容な姿勢が国内外で広がりつつある今こそ、人権感覚の大切さを強く訴えたいと考えています。





法務大臣感謝状





功績

● 作文コンテストの後援等

奈良テレビ放送株式会社は、22年にわたり、「全国中学生人権作文コンテスト」奈良県大会を後援し、審査員の派遣、「奈良テレビ放送賞」の贈呈をしている。また、各種の人権相談強化週間などの法務省の人権擁護機関の活動について、情報番組で告知・紹介するほか、同社のニュースサイト等に記事及び取材映像を掲載している。これらの活動は、人権尊重思想の普及高揚と法務省の人権擁護機関が行う人権擁護活動への支援及び協力において、顕著な功績があるものと評価された。

受賞のコメント

開局50周年の年に栄誉ある賞をいただき、心より感謝申し上げます。 県民待望のテレビジョン県域放送を行いたいという先人の想いの下で誕生した弊社は、人権教育が盛んな奈良県の報道機関としてその責任を 果たすべく、これからも報道や広報活動を通じて様々な人権擁護活動の 一助となるよう努力を続けて参ります。





法務大臣感謝状

產經新聞社





功績

● 作文コンテストの後援等

株式会社産業経済新聞社大阪本社は、22年にわたり、「全国中学生人権作文コンテスト」大阪大会を後援し、審査員の派遣、「産経新聞社賞」の贈呈、入賞作文の新聞紙面への掲載をしている。これらの活動は、人権尊重思想の普及高揚と法務省の人権擁護機関が行う人権擁護活動への支援及び協力において、顕著な功績があるものと評価された。

受賞のコメント

この度は、表彰いただきありがとうございます。

中学生の作文は、それぞれの年の世相を映しており、子どもたちの感度の 高さを感じております。これからも紙面を通して、中学生の人権に対する思 いの発信に努めてまいります。





全国人権擁護委員 連合会会長感謝状





功績

● 作文コンテストの後援等

株式会社テレビ和歌山は、20年以上にわたり、「全国中学生人権作文コンテスト」和歌山県大会を後援し、審査員の派遣、「テレビ和歌山賞」の贈呈、表彰式の様子の報道をしている。また、各種の強化週間、人権擁護委員の日、特設相談所の開設、シンポジウムなど、法務省の人権擁護機関の様々な活動を報道している。これらの活動は、人権尊重思想の普及高揚と法務省の人権擁護機関が行う人権擁護活動への支援及び協力において、顕著な功績があるものと評価された。

受賞のコメント

この度は栄えある賞をいただき誠にありがとうございます。

「全国中学生人権作文コンテスト」では中学生の皆さんの多方面に及ぶ人権意識の広がりとその思いの強さに感動を覚えます。

弊社では今後も人権擁護のための報道や広報活動に取り組み、よりよい社会づくりの一助となるよう努めてまいります。





全国人権擁護委員 連合会会長感謝状



株式会社ベガルタ仙台



功績

● サッカーを通じて様々な人権擁護活動を実施

プロサッカークラブ「ベガルタ仙台」を運営する株式会社ベガルタ仙台は、16年にわたり、試合会場における人権啓発活動(マスコットキャラクターの画像を使用した啓発物品の配布、横断幕を掲げたピッチ行進等)への協力を行っている。また、平成27年度からは、「全国中学生人権作文コンテスト」宮城県大会を後援し、審査員の派遣、「ベガルタ賞」及び副賞の贈呈をしている。これらの活動は、人権尊重思想の普及高揚と法務省の人権擁護機関が行う人権擁護活動への支援及び協力において、顕著な功績があるものと評価された。

受賞のコメント

ベガルタ仙台は33万人の署名と多くの方々の努力によって誕生した市 民クラブであり、このたびの名誉ある賞は県民・市民のみなさまのものだと考 えております。

人権の尊重、差別のない社会づくりはプロスポーツ界、Jリーグとしても取り組んでいるものです。来シーズン設立30周年を迎える当クラブとしても、地域のみなさまと共に精力的に啓発活動を行ってまいります。





全国人権擁護委員連合会会長感謝状



株式会社ブラウブリッツ秋田



功績

● サッカーを通じて様々な人権擁護活動を実施

プロサッカークラブ「ブラウブリッツ秋田」を運営する株式会社ブラウブリッツ秋田は、14年にわたり、試合会場における人権 啓発活動(マスコットキャラクターの画像を使用した啓発物品の配布、横断幕を掲げたピッチ行進等)への協力を行っている。また、平成26年から同30年にかけて、秋田県内の小学生を対象とした人権スポーツ教室に選手を派遣し、平成27年度からは、「全国中学生人権作文コンテスト」秋田県大会を後援し、「ブラウブリッツ秋田賞」を贈呈している。これらの活動は、人権尊重思想の普及高揚と法務省の人権擁護機関が行う人権擁護活動への支援及び協力において、顕著な功績があるものと評価された。

受賞のコメント

この度は人権擁護功労賞という名誉ある賞をいただき、心より感謝いたします。

ブラウブリッツ秋田では「秋田の笑顔と元気の創出」という理念を掲げ、日々秋田の皆様と共に地域貢献活動を行ってまいりました。

今後も秋田の皆様と共に、「秋田の笑顔と元気の創出」を目指すべく、 人権擁護活動に取り組んでまいります。





全国人権擁護委員連合会会長感謝状





功績

● 野球を通じて様々な人権擁護活動を実施

プロ野球チーム「石川ミリオンスターズ」を運営する株式会社石川ミリオンスターズは、16年にわたり、人権啓発活動(選手の画像を使用した啓発物品の配布、スタジアムの電光掲示板による啓発動画の放映等)への協力を行っている。また、平成25年から、小学生を対象とした人権野球教室に選手を派遣し、平成27年からは、北朝鮮人権侵害問題啓発週間において、選手3名が「一日人権擁護委員」として啓発活動を行っている。これらの活動は、人権尊重思想の普及高揚と法務省の人権擁護機関が行う人権擁護活動への支援及び協力において、顕著な功績があるものと評価された。

受賞のコメント

この度は、名誉ある「人権擁護功労賞」を頂き心より感謝申し上げます。 「石川ミリオンスターズ」は『地域活性貢献活動・子供達に野球の楽しさを伝える』を球団理念にしております。人権野球教室では子供達に「心と心のキャッチボール」の精神をもとに、チームプレーの大切さを伝えております。 今後も人権擁護活動に積極的に取り組み、人権を尊重し合う地域作りに努めてまいります。

